

教育民生委員会記録

開会年月日	平成28年6月27日
開会時刻	午前10時58分
閉会時刻	午前11時15分
出席委員名	◎藤原清史 ○楠木宏彦 上村和生 北村 勝
	辻 孝記 吉岡勝裕 品川幸久 上田修一
	中村豊治
	中山裕司議長
欠席委員名	なし
署名者	上村和生 北村 勝
担当書記	中野 諭
審査案件	伊勢市病院事業に関する事項 継続調査案件 ・新市立伊勢総合病院建設地造成工事の事故について
説明員	都市整備部長、都市整備部次長、基盤整備課長
	病院事業管理者、経営推進部長、経営推進部参事
	新病院建設推進課長、新病院建設推進課副参事
	その他関係参与

審査経過

藤原委員長が開会を宣言し、会議録署名者に上村委員、北村委員を指名した。

直ちに会議に入り、継続調査案件となっている「伊勢市病院事業に関する事項」を議題とし、当局から報告を受け、若干の質疑の後、引き続き調査をすることを決定し、委員会を閉会した。

なお詳細は以下のとおりです。

開会 午前10時58分

◎藤原清史委員長

ただいまから教育民生委員会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立いたしております。

それでは会議に入ります。

会議録署名者2名を委員長において上村委員、北村委員の御両名をお願いいたします。

本日の案件は、継続調査となっております「伊勢市病院事業に関する事項」であります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕〕

◎藤原清史委員長

御異議なしと認めます。

そのように取り計らいをさせていただきます。

【伊勢市病院事業に関する事項】

【新市立伊勢総合病院建設地造成工事の事故について】

◎藤原清史委員長

それでは「伊勢市病院事業に関する事項」についての審査を願います。

「新市立伊勢総合病院建設地造成工事の事故について」当局の説明を願います。

新病院建設推進課長。

●成川新病院推建設進課長

それでは、「新市立伊勢総合病院建設地造成工事の事故について」御報告申し上げます。

このたびは、地盤改良を行う施工機の転倒という、あってはならない事故を起こしてしまい、多大なる御心配、御迷惑をおかけいたしましたことを深くおわび申し上げます。

本日は、事故の状況、原因、今後の対策等について、御報告を申し上げます。

それでは資料1をごらんください。

はじめに、「事故発生日時」でございますが、6月24日金曜日午前9時頃発生いたしました。

事故の状況でございますが、事故当日、1本目の杭打設は通常どおり無事完了し、施工機の誘導を行う合図者の指示により、2本目の打設位置に移動を開始した際、高さ36メートルの施工機が傾き、国道23号側へ転倒したものでございます。

被害の状況でございますが、人的被害及び国道23号の通行車両に被害はありませんでしたが、国道23号歩道の転落防止柵、及び擁壁の一部が損壊となりました。事故発生後、速やかに転落防止柵の仮復旧とシート養生を行っております。

また、国道を管理している津国道維持出張所、伊勢労働基準監督署へ事故の報告を行い、警察の現場検証を受けました。

市としても事故当日、事故状況等の報告を受け、現場確認を行い、今後の安全対策について、速やかに報告書を提出するよう指示をいたしました。

次に、事故原因につきましては、施工会社からの報告を受けた後、市の工事担当部署も含め検証を行った結果、1つに、「敷鉄板の変形・ずれ・段差があったこと」、2つめに、「合図者が慣れによって油断し、敷鉄板の端を通るルートに誘導したこと」が原因であると確認いたしました。

次に、今後の安全対策につきましてですが、施工会社からの安全対策の提案を受けた後、関係部署と協議を行った結果、さらなる対策強化として、「敷鉄板の点検」、「移動前後の走行経路確認」、「施工機付近に表面水がある場合、排水処理を行う」、「施工機のリーダーの傾斜を確認しながら移動すること」としました。また、新たな対策といたしまして、「安全監視員の増員」、「合図者・監視員の再教育」、「鉄板敷設前の地盤確認」、「敷鉄板の端に施工機のキャタピラと平行に敷鉄板を追加配置すること」、「施工機が走行する際、方向転換の角度を緩やかにすること」といたしまして、これらの安全対策を徹底するよう指示をいたしました。

次に、今後の工期への影響でございますが、地盤改良工の工程は現在進捗率63%でありまして、これまで順調に進めてきております。しかし、今回の事故により、この工程は遅れることとなりますが、施工会社より、施工時間の延長、休日作業の実施、地盤改良工完了後の施工班を増員し、工程を回復させ、事故に伴う工期延長を行うことなく完成させるとの報告があり、工期への影響がないことを確認いたしました。

次に、2ページをごらんいただきたいと存じます。

施工機転倒の位置図でございます。御高覧をお願いいたします。

次に、3ページをごらんください。

上段に事故当日の経緯を整理しております。また、施工機の転倒状況を①から④まで、図で時系列に整理しておりますので、御高覧をお願いいたします。

次に、4ページをごらんください。

上段が地盤改良作業中の写真、中段が事故当時の状況写真でございます。下段が昨日午後5時の状況写真であり、左が国道23号の仮復旧状況、右が施工機の撤去作業を行っている状況でございます。

説明は以上でございますが、今後、2度と同じ事故を起こさないよう、安全対策を徹底し、スケジュールに遅れが生じないように、造成工事を進めてまいります。

御理解いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

◎藤原清史委員長

ただいまの報告に対しまして、御発言はございませんか。
品川委員。

○品川幸久委員

皆さんないようですので、ちょっと一言だけ言わせていただきますけど。公共工事なん
でね、先ほどの説明の中でもありましたけど、あってはならないことやっていうこと
すよね、万全を期して、入る前からやっていただかないとですね、今回の議会の中
でも事故の報告もありますけど、何回も同じことなんですよね。この病院、もし、
もしですに、この写真を見てもそうなんですけど、けが人とか、もし亡くなる
方が出たときに、もう、病院の建設自体が飛んでしまうというね、それ
くらいの危機感は当然もっておられるのかなと思うんですけど、何か話を
聞いておると、けが人がなくてよかったなど、工期も遅れへんでって
いうような話だけでね、本当にいいのかどうかというね、その辺のところ
はどうか考えておられるんかちょっと教えていただきたい。

◎藤原清史委員長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

この度は大変重大な事故を起こしまして、御迷惑をおかけしました。

決してあってはならない事故ということですね、当然、工事開始前から、その
ような認識で工事は進めておりましたけれども、先ほどの事故原因等で申し上げ
ましたとおり、起こってしまったということでございますので、今後はですね、
この改善案を徹底して、絶対にこのような事故を起こさないように、私ども
としても、業者に指導をしてまいりまして、進めていきたいと
そのように考えております。

◎藤原清史委員長

品川委員。

○品川幸久委員

それは当たり前で、まあ言うたら凡ミスで起こったような話なんでね、
風が吹いたとか、そういう自然災害かなんかで、そんなとき地震が起きた
ということで倒れたんじゃないんでね、本当に今の説明を聞いておると
安易なミスですよね。それで事故が起こったから、それを強化します
なんていうのは、世間が通らんような話なんで、しっかりとやって
いただきたいと思います。

それからちょっと病院のほうにお伺いしたいんですけど、事故が起きた
のが9時ごろですよね。議長のほうには当然連絡をされたと思います
けど、教育民生委員会委員のほうには連絡が来なかった
ですよね。私らに来たのは夕方 FAX で来ましたよね。私それまでに、

病院の入院患者の方と、それから検査に行った方と、フェイスブックにもあがっておって、それで何しとんのやと、あわてて見に行きました、お昼前です。

ちょっと悪いけど、こんな大事な話を一報が、ちょっと遅いんじゃないかなと。委員長、何時頃、あなたは連絡をもらったのですか。

◎藤原清史委員長

11 時前ですかね。

○品川幸久委員

そうですね。そのときに、実はほかの委員も含めて、それぐらいの報告は出来たんと違いますかと、僕は思いますよ。

今回のときも私、議会事務局にもはっきりと言いましたけど、定例会終了後、ちゃんと報告会をせいと、せやなかったら、こんなことを後回しにしておったら、非常に危機感がないですよ。

せやでそこら辺のことも含めて、私らに言わしたら、議会をばかにしとんのかというふうな話やと思うんでね、事故が起きたら、大事なことやったら速やかに報告してですね、すべきことがたくさんできると思うんですよ。お宅らひとりと違うんですけどね、職員の方もおるんやで、教育民生委員の人にはちゃんと連絡せいとやうて、それぐらいのことはできると思うんですけど、その点について、一言聞いて終わっておきたいと思います。

◎藤原清史委員長

経営推進部長。

●森井経営推進部長

品川委員の今の御指摘、まことにものなことでございます。この場をお借りしまして、連絡自体が遅れましたことをおわび申し上げます。

当日 9 時頃にこの事故が起こりまして、それからその段階でわかる範囲で情報収集しながら、私どもの市長、副市長、それから正副議長、正副委員長に面談もしくは電話で御連絡をさせていただきました。その段階で、現場に来ておりました新聞記者対応とか、現場の対応で追われておりました、先ほど御指摘いただきましたように、その他の職員が多々おりますので、まずこういう事故が起きたよと、詳細につきましては改めてということも含めて御連絡をすべきだったというふうに反省をいたします。今後このようなことがないように肝に銘じておきますのでよろしく願いいたしたいと思います。どうも申し訳ございませんでした。

◎藤原清史委員長

他にございませんか。

中村委員。

○中村豊治委員

1、2、ちょっと確認をさせていただきたいと思います。

特に私も現地を見せていただきまして、雨の影響かどうか、非常に鉄板の状況もですね、雨に濡れておって、すべるような状況だったと。全然専門的なことはわからんですけども、ただ単純にそういうように感じました。だから非常に、鉄板の段差も含めてですね、やっぱり、それがひとつの要因ではないかというぐあいに思うわけなんですけれども、ここに書いてあるように、施工機付近に表面水がある場合は排水処理を実施するというふうなことを書かれておるんですけども、具体的にですね、これをどういうふうな形でやっていくかですね、雨が降ったら排水をしていくのか、だれがどのように判断をして、どうしていくのか、これは具体的にここに出ておりませんのですね、まずこの、私も現地を見てやっぱりこれは、非常に、前後で雨が降って、非常に地盤が軟弱になっておる、これはだいぶ水も溜まっておったし、これは非常にそういう意味では危険かなという感じなんですけれども、この点、まず1点教えてください。

◎藤原清史委員長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

表面水の排水でございますけれども、現在も実は排水はしておりますですね、場内のところに水を集中させる釜場といいますか低いところをつくりましてですね、そこでポンプで掻き出すということをやっておりますが、今回増強するというところで、そういったポイントをふやして、排水をより早く行くと、そのような対策を講じてまいりたいと思います。

◎藤原清史委員長

中村委員。

○中村豊治委員

それから、専門的なことはわからんわけですけど、この新たな対策の中にですね、施工機が走行する際に、方向転換の角度を緩やかにすると、これはだれが見とるわけですか。緩やかにするということは。どういうぐあいに、何度にしなさいとかですね、やっぱり具体的にそういうのを書かなですね、これは。緩やかにするでは、緩やかにしたんやけども、倒れたんやということになるかもわからんし、この点どういうぐあいに使用されるわけですか。

◎藤原清史委員長

基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

現在、方向転換する場合はですね、一律の、その杭が設置して、次の列に移る場合に一

段、その分下がるという形で、ななめにその方向転換をやってまいります。資料で見てくださいと3ページのところの、①のところ矢印がありますけども、このようなイメージで移動してまいります。ここを下に敷いてある、これ四角で枠を書いてあるのが鉄板でございますけれども、その上を通るといいますが、今までの角度よりも緩くというのをしていくと。それはですね、建設機のオペレーターだけではなくて、合図者というのが機械のすぐ近くにおります。その合図者が、その機械の動きを、それからまた、下の鉄板の状況も見て合図します。それで、今回はその合図者に加えて、さらに安全員を、監視員を増強して、その緩やかに動くということを確認しながら移動をしてまいりたいと考えています。

◎藤原清史委員長
中村委員。

○中村豊治委員

その合図者なんですけどね、その合図者が一応強化してくということいろいろ書いてあるんですけども、その実際にこれ見て、やっぱりその角度を指示するわけ、どうするわけ、具体的に、そのバックホーに対して。

◎藤原清史委員長
基盤整備課長。

●荒木基盤整備課長

何度という角度ではございませんが、当然その行為をずっとやっておりまして、その機械の動きとか、鉄板の位置を見て、角度が感覚的にわかります。それを目視で確認しながら合図者が指示をだすということで、指示してまいりたいと思います。

◎藤原清史委員長
よろしいですか。

○中村豊治委員
わかったような、わからんような話で、終わります。

◎藤原清史委員長
他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎藤原清史委員長
よろしいですか。
御発言もないようですので、報告に対しましての質問を終わります。

続いて、委員間の自由討議を行います。
御発言はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎藤原清史委員長

御発言もないようですので、自由討議を終わります。

以上で「新市立伊勢総合病院建設地造成工事の事故について」を終わります。

「伊勢市病院事業に関する事項」につきましては、引き続き調査を継続していくということで、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎藤原清史委員長

御異議なしと認めます。

本件については、引き続き調査を継続いたします。

以上で、本日御審査いただきます案件は終わりましたので、教育民生委員会を閉会いたします。

閉会 午前11時15分

上記署名する。

平成28年 6月27日

委 員 長

委 員

委 員